

授業科目名	ジェンダー論	単位数	2単位
担当教員名	高木由起子	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係 DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力) DP5.共生社会創造の目的のために、様々な分野について絶えず学び続ける態度を持つことができる(継続力)			
授業のテーマ及び到達目標 (1) 女性の性に関する偏見等について理解する。 (2) ジェンダーとは何かを理解し、性別という概念の社会的構築を理解する。 (3) ジェンダーにおける身体、アイデンティティ、表現の多様性を理解する。 (4) ジェンダー不平等の根源を理解し、ジェンダー平等のための取り組みを考察する。			
授業の概要 「自分らしさ」ってなんだろう。そんな疑問から考えてみましょう。自分らしさを主張することでいじめに遭い、自分らしさを隠してきただろう。近年、「ジェンダー」や「性の多様性」という言葉はメディアを通じてよく耳にするようになったが、これらの言葉は幅広い。この授業では、ジェンダーの基本的な概念および関連する現代的な問題について探究し、ジェンダーが社会や文化にどのように影響を与えるか理解する。			
授業計画 1 ころと体の変化 2 女性の月経 3 PMSとは 4 月経中の食事の摂り方 5 妊娠・不妊・人工妊娠中絶について 6 性感染症 7 ジェンダーとは何か？性別とは何か？ 8 ジェンダーの歴史的背景と変遷 9 性別で分かれているものとは 10 ジェンダーと学校教育 11 カミングアウトとアウティング 12 当事者の今 13 性暴力・性被害 14 今の日本と将来の日本 15 まとめ 定期試験			
スクーリングでの学修 ①ジェンダーに関する用語や概念を共有し、理解を深める。②実生活でのジェンダーに関する事例やケーススタディを使用して、学修を深めていく。③グループワークを通じて、異なるジェンダー経験や視点を共有しあう。			
テキスト 特に指定しない。Googleクラスルームにて、資料を掲載する。			
参考書・参考資料等 飯田貴子・熊安貴美江・来田享子(2022)『よくわかる スポーツとジェンダー』ミネルヴァ書房 9784623081561			
学生に対する評価 スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)			